【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第６区分
【発行日】平成16年12月24日(2004.12.24)

【公開番号】特開2001-31015(P2001-31015A)
【公開日】平成13年2月6日(2001.2.6)
【出願番号】特願2000-174433(P2000-174433)
【国際特許分類第７版】
　Ｂ６５Ｂ　43/04
　Ｂ２９Ｃ　65/74
　Ｂ６５Ｂ　51/32
// Ｂ２９Ｌ　22:00
【ＦＩ】
　Ｂ６５Ｂ　43/04
　Ｂ２９Ｃ　65/74
　Ｂ６５Ｂ　51/32
　Ｂ２９Ｌ　22:00

【手続補正書】
【提出日】平成16年1月19日(2004.1.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
熱可塑性樹脂のインフレートフィルムウエブ（５）を前方に間欠的に引き、そしてインフレートフィルムウエブを、その前端に横方向の底側溶着部（６０）を作り且つ把持搬送機構（２６）より上でインフレートフィルムウエブを切断して管状セグメント（２１）にする横方向溶着横方向切断機構（１５）の中に上下方向に垂らして供給するための前方引きユニット（６）を有する、熱可塑性樹脂の袋を製造、好ましくは更に充填、シールする装置において、
壁（６２）と、この壁の上方又はこの壁の頂部領域に設けられたブローエアノズル（６１）と、を有し、前記ブローエアノズル及び前記壁は、インフレートフィルムウエブの供給経路に対して、インフレートフィルムウエブと前記壁との間の隙間に吹き込まれたブロー空気がそれと共にインフレートフィルムウエブの前進端を導いてインフレートフィルムウエブを伸ばすように配置され、
更に、前記底側溶着部を冷却するために前記供給経路の下端領域に配置された冷却装置を有し、この冷却装置は、第１の一対の冷却用ジョー（７０，７２）を有し、第１の一対の冷却用ジョーのうちの少なくとも１つは、前記底側溶着部に向って揺動するように枢動させることができることを特徴とする装置。
【請求項２】
前記ブローエアノズル（６１）は、ブローエアノズルの列又は細長いノズルスリットを含む、請求項１に記載の装置。
【請求項３】
前記第１の一対の冷却用ジョーは、定置ジョー（７０）と、プライヤーのように揺動可能なジョー（７２）と、を含む請求項１又は２に記載の装置。
【請求項４】
前記第１の一対の冷却用ジョー（７０，７２）のうちの少なくとも一方は、前記底側溶着

部（６０）に向けられたブローエアノズル（７３，７４）を備える、請求項３に記載の装置。
【請求項５】
冷却工程に有用である前記第１の一対の冷却用ジョー（７０，７２）は、充填済みの袋を搬出するコンベヤベルト（５１）の支持体（５５）に取付けられる、請求項１乃至４の何れか１項に記載の装置。
【請求項６】
前記コンベヤベルト（５１）の支持体（５５）は昇降する、請求項５の記載の装置。
【請求項７】
前記把持搬送機構の把持プライヤーは、機械フレームに対して横方向に移動され又は揺動され、切断された袋セグメント又は袋を１ステーション分の長さだけ搬送する、請求項１乃至６の何れか１項に記載の装置。
【請求項８】
第２の一対の冷却用ジョー（７６，７７）が前記第１の一対の冷却用ジョー（７０，７２）からほぼ1サイクル分、離して設けられ、前記第２の一対の冷却用ジョー（７６，７７）のうちの少なくとも一方のジョー（７６）が冷却される、請求項１乃至７の何れか１項に記載の装置。
【請求項９】
前記第２の一対の冷却用ジョー（７６，７７）は、充填済みの袋を搬出するコンベヤベルト（５１）の支持体（５５）に連結されたブラケット（６４）に固定される、請求項８に記載の装置。
【請求項１０】
前記壁（６２）の長さは、充填済みの袋を搬出するコンベヤベルト（５１）の支持体（５５）の高さに合わせて調整される、請求項１乃至９の何れか１項に記載の装置。
【請求項１１】
前記壁（６２）は可撓性ウエブで作られ、この可撓性ウエブの下端は、充填済みの袋を搬出するコンベヤベルト（５１）の支持体（５５）又はこの支持体に連結されたブラケット（６４）に固定され、前記可撓性ウエブ（６２）は、ガイドロッド又はガイド縁（６５）と機械フレームに取付けられた前記可撓性ウエブの上端用アタッチメント（６６）との間でループ（６７）にされ、このループに重り、例えば、ロッド（６８）が挿入される、請求項１乃至１０の何れか１項に記載の装置。
【請求項１２】
前記壁は重なり壁部分を含み、前記壁の頂側部分は、フレームにしっかりと固定され、その下側部分は、充填済みの袋を搬出するコンベヤベルト（５１）の支持体（５５）に固定される、請求項１乃至１１の何れか１項に記載の装置。